

2011年度

|  |  |    |       |          |  |  |  |  |
|--|--|----|-------|----------|--|--|--|--|
| 科目名  | 基礎ゼミナール I B  |    |       |          |  |  |  |  |
| 担当教員   | 近藤 篤俊  |    |       |          |  |  |  |  |
| 配当   | 人社1  |    | コード   | 32056    |  |  |  |  |
| 開期   | 後期   | 講時 | 水曜日2限 | 単位数<br>1 |  |  |  |  |
| 授業テーマ  | 「情報概論」ってなんですか？   |    |       |          |  |  |  |  |
| 目的と概要  | 情報社会の進展に伴い、ペンと紙と電卓などの文房具などの文房具に代わり、パソコンや携帯電話などの情報機器を使うことが一般化しています。さらに、インターネットなどのネットワークを利用することによって、地理的に離れた、時間的にすれ違う人達がコミュニケーションを図ることが可能となっています。これらの動向を踏まえ、大学生活に展開できる活用方法を、基礎ゼミナール I Aに引き続き考えていきます。  |    |       |          |  |  |  |  |
| 成績評価法  | 授業への参画度に重点を置き、ゼミ時間内の発言や課題提出状況、演習態度等を含めて総合的に判断を行います。<br>(授業への参画度&課題作成65%、期末テスト35%の割合)   |    |       |          |  |  |  |  |
| テキスト   | ゼミ初回時に指示します。   |    |       |          |  |  |  |  |
| 参考書  | ゼミ初回時に指示します。   |    |       |          |  |  |  |  |
| 履修に当たつての注意・助言 /準備学習  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目は、演習を交えながら「具体的事例」とともにゼミナールを進めます。</li> <li>・遅刻をしない事。遅刻者に対するチェックについて大変厳しく行っているので十分注意して下さい。</li> <li>・ゼミナール前の「予習」(個人学習)で前もって不明・疑問点を明確にしてから演習に望むこと。</li> <li>・既習項目は、「復習」を繰り返すことによる完全理解を目指すこと。</li> <li>・言われた事だけを行うだけではなく、ゼミナールの目的・理由・効果を毎回確認し、自由自在に応用展開が出来る様に、積極的な態度でゼミナールに望んでもらう事を期待します。</li> <li>・内容によって、他のゼミとの合同開講となる場合があります。</li> </ul> |    |       |          |  |  |  |  |
| 講義計画   |  |    |       |          |  |  |  |  |
| 1. ガイダンス<br>2. 情報の基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>-1. 情報の基本概念、情報用語</li> <li>-2. コンピュータネットワークの基本的な仕組み</li> <li>-3. 情報と現代社会</li> </ul> 3. 情報と社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>-1. 情報社会の特徴</li> <li>-2. 情報社会における情報公開とプライバシー</li> <li>-3. 情報社会におけるコミュニケーション</li> </ul> 4. 情報と倫理 <ul style="list-style-type: none"> <li>-1. 情報の価値</li> <li>-2. 知的所有権</li> <li>-3. コンピュータ犯罪、セキュリティ</li> </ul> 5. まとめ・総括 |  |    |       |          |  |  |  |  |